



ボランティアからみた一世相

1976年卒 田中 庸彦

今から十年ほど前、天の啓示か気の迷いか善人になりたくなり、外国からのお客様を世話するホストファミリーを始めることにした。国際交流を推進するいくつかの組織から紹介され、いままで20数カ国から30人以上の人達を迎えた。短くても数日の交流、6週間の長きにわたって我が家に滞在した人もいる。おおむね楽しくかつ有益な時を過ごせた。

我が家に迎えて最も扱いにくいお客様は、日本に関心もないのに来日してしまった人。日本食が合わず体調を崩したとか、日本文化を説明していても、心ここにあらずの体を示す人である。一方、秀逸だったのは、日本語学習に来日した英国女性。英語が話せないのではないかと私が疑った程、4週間滞在の最初の1週間は英語を全く話さず、彼女は日本語だけで通した。毎夕食後は、日本語、文



(写真一) 外国からの若者達

化、歴史についての私の講義（！）を、彼女の方から求めてきてくれた。困ったのは、毎日我が家から出かけるこの金髪美人を見て、うろうろしている近所の人。「そういえば、田中さんは若い頃海外生活が長かったそうだ・・・」（??）。インド人の家族を何度か我が家に招いたことがある。その彼らを見かけた近所の庶民。「黒人の世話か」。何たる発言。言葉を失ってしまう。このインド人の御主人は京都大学博士課程の学生で、学位を終わらせ、現在京都大学の準教授である。ともあれ、我が国民の啓発を含め、いささかでも国際貢献できたのではないかと思う。

時に問題が生じる。外国からのお客様、ホストファミリー、国際交流を推進する組織、これら三者のどの一者がそれを引き起こすのか？マレーシアからの高校生二人を、二泊三日で受け入れたことがある。ホストファミリーの募集時、条件要項に「犬を飼っている家庭は、ゲスト滞在中、犬をペットホテル等に預けること」とある。イスラム教徒の中には、犬を見る事さえ受け入れられない人がいる事は知っている。しかしながら、この事業の一つの目的は、日本のありのままの姿を提示、理解させることでもある（「理解してもらう」ではない）。この仲介組織職員は「問題が起こればこの事業を継続できない」という。マレーシアと日本のお互いの政府責任部署が、問題が起こった時の為に、正式な文書を取り交わしているという。外務省に電話して担当者を電話口呼び出し、このことの真偽を確かめてみた。一言、「その様な文書など有りません。」ホストファミリー その存在なくしては、この事業は成立しないにもかかわらず、その我々を欺くことなど朝飯前なのである。見つめている視線の先は、自分の所属している組織であり理事長の首である、「国際交流」という美しい画ではなく。各職員が誠実に職務にあたっていたとしても（これに疑いはない）、組織全体のベクトルはあらぬ方向を向いている。「時に」と書いたが、実際は「しばしば」である。

2011年12月、四国高知を歩いて「利他行」のまねごとを実践していた。弘法大師に導かれ「場所が違うではないか」との思いが高まり、年が明けて1月早々には、宮城県石巻の地に立っていた。避難住宅の2千数百世帯を十数人で手分けし、毎日一軒一軒訪問するボランティアである。新聞を配りながら、避難民の健康状態を確かめるのが目的である。被災地域外から来た人間には、被災時の悲惨さその後の辛苦を語りやすいようで、住宅内に招き入れられ、長時間話し相手になることも珍しくない。しばらくして気付いたことがある。私の所属していた組織だけでなく、他ボランティア組織、社会福祉協議会それぞれのボランティア、職員たちが、次から次と避難住宅各戸を訪れに来る。そのたびに、避難住民は対応しなければならない。ボランティア活動の組織間競争の体をなしている。

誤解を恐れずに形容すると、「親切の押し売り」である。一旦組織としてのボランティア活動が転がり始めると、だれも止められない。会社を退職または辞めて半年以上現地に張り付いている人間も多い。ボランティア活動で親しくなった者同士が、東京に一時帰京した時、ハローワークでばったり出会ったという話も聞く。各ボランティアは、尊い気持ちで活動しているのに疑いはない。その各人の気持ちとは別に、組織全体となるとあらぬ方向に向かうのである、生き物のように。



(写真二) ボランティアの寝所でのミーティング

京都大学も国際化、英語での教育の為に、また、優秀な人材を集めようと、多くの外国人教員の採用に踏み切っている。留学生に限れば、全京都大学生約22,000人中、約2,000人は留学生である。各考え方、各期待は間違っていないとしても、大学組織全体としてはだれも予測しない方向に振れていくことはないのでしょうか。

(おわり)

発電用蒸気タービン制御の歴史

(4)

History of the Steam Turbine Control

藤川 卓爾 (S42年卒)

転載元：火力原子力発電技術協会，

「火力原子力発電」, Vol. 63, No. 7, pp. 11-29, (2012-7)

4. 機械式ガバナ

2章のパーソンスタービンのガバナは典型的な機械式ガバナである。その後のタービンのガバナには機械式ガバナが使用された。機械式ガバナにはタービンのメーカーや時代の変遷によって種々のものがあるが、基本的には遠心錘によってタービンの回転速度を検出して、この速度信号を機械的に変換してパイロットリレーのような比較的小さくて軽い操作端を動かし、蒸気圧や油圧を用いて最終的に蒸気弁を開閉する仕組みを採用している。

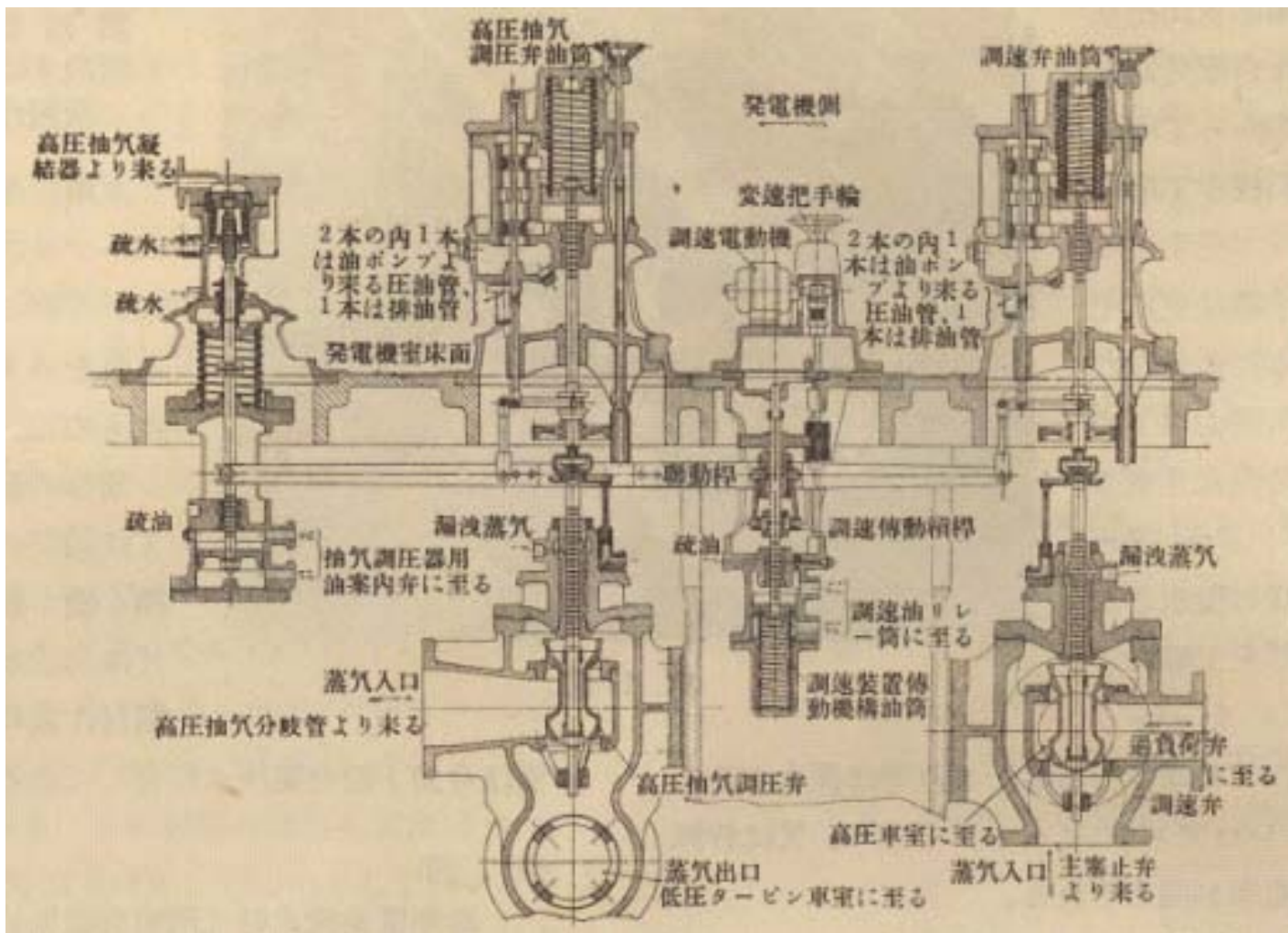


図9 2段抽気復水タービン機械式ガバナ抽気調圧装置

[出典] 吉田 孝太郎「我が国における蒸気タービンの発達」, 日本機械学会誌, 機械学会創立40周年記念号, 第41巻, 第253号, pp. 440-452, (1938-4)

4.1 初期の2段抽気復水タービン機械式ガバナ⁽⁸⁾

図9に初期の2段抽気復水タービン機械式ガバナの抽気調圧装置を示す。このタービンは複シリンダー純インパルスクロスコンパウンド式減速装置付タービンで、1929年(昭和4年)に三菱長崎造船所で製造されて王子製紙(株)小倉工場に納入された。最高/定格出力2,500/2,100kW、回転速度は高圧/低圧5,000/750rpmで、工場用抽気タービンとして国産機最初のものである。効率向上のためにクロスコンパウンドとして高圧、低圧タービンがそれぞれ子歯車を介して1つの親歯車に噛み合い、同一の発電機を駆動する。

図には右下に调速弁、中央下に高圧抽気調圧弁が示されており、それぞれの弁の上部に弁を駆動する油筒が配置されている。図の中央部に水平に連動桿が走っており、左側の高圧抽気調圧器と2つの弁のパイロットリレーを繋いでいる。両弁の間に调速装置が配置されており、図では明確ではないが連動桿と繋がっているものと思われる。调速装置と高圧抽気調圧器によって連動桿の位置が決まれば、それに応じて调速弁、高圧抽気調圧弁のパイロットリレーが駆動され、両弁が動く。弁の動きは弁棒に取り付けられたレバーによってフィードバックされ、パイロットリレーが少し戻って平衡する。この図には低圧抽気調圧弁とその制御機構が示されていないが、同様のレバーメカニズムによって调速弁と高圧抽気調圧弁、低圧抽気調圧弁の動きを相互に関連付けて回転速度あるいは出力と高圧抽気圧力、低圧抽気圧力を制御する仕組みになっていると考えられる。

4.2 抽気背圧タービン機械式ガバナ

図10にスイスのエッシャーウイス社の機械式ガバナを示す。タービン軸からウォームギアを介して駆動される调速器には1つだけ遠心錘が取り付けられている。回転速度が上昇すると、遠心錘が外側に広がって调速器の中心部に設けられた軸を引き下げる。軸の変位によって軸の上端部の固定座とのギャップが変化して内部の油圧が変化する。この油圧変化を拡大して操作端

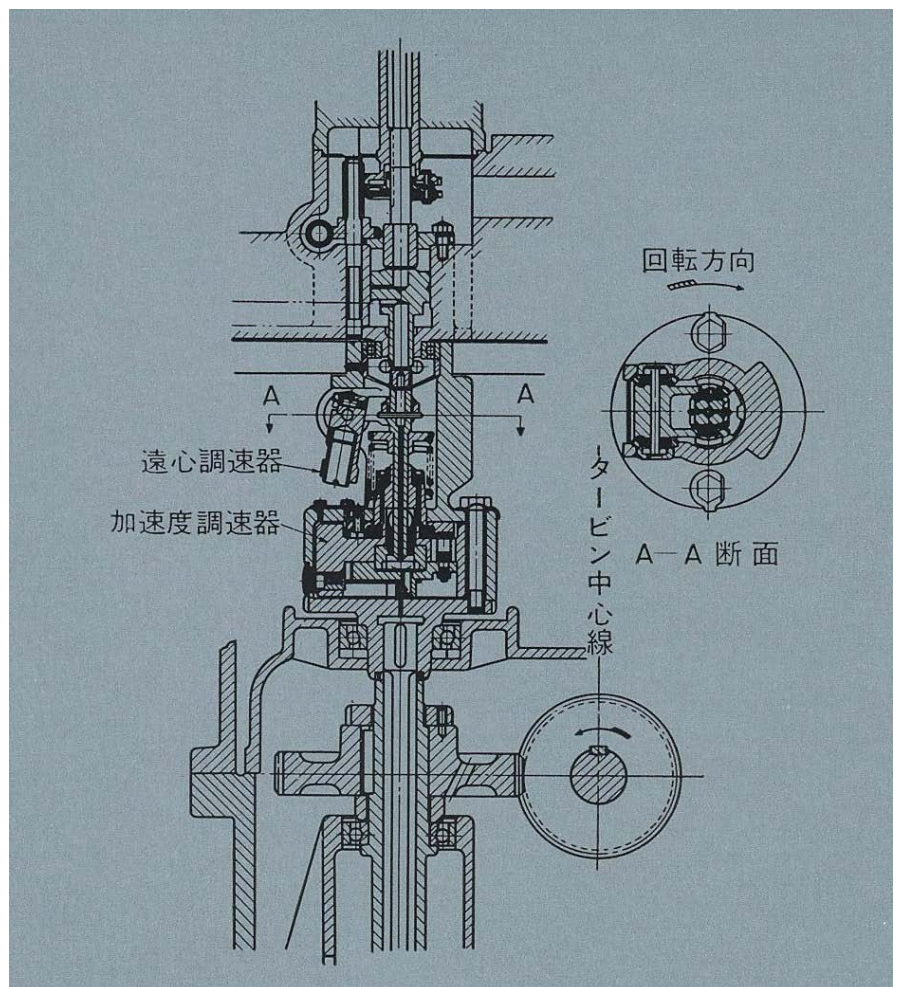


図10 エッシャーウイス社機械式ガバナ

[提供] 三菱重工業(株)長崎造船所

の変位とする。調速器は回転速度の変化にほぼ比例した油圧の変化を作り出すが、負荷遮断時などの急激な回転速度変化時には調速器の作り出す油圧に応じて蒸気弁が閉まっていたのでは間に合わないことがある。このときのために、加速度が生じたときに加速度を検出して直ちに油圧を変化させる加速度調速器が調速器の下側に設けられている。

図 11 に抽気背圧タービン機械式ガバナの概念図を示す。タービンには蒸気加減弁と抽気調圧弁、制御装置としては、調速器と負荷制限器、抽気圧力調整器、排気圧力(背圧)調整器が設けられている。このタービンでは、表 1 に示す 3 つのモードの運転ができる。

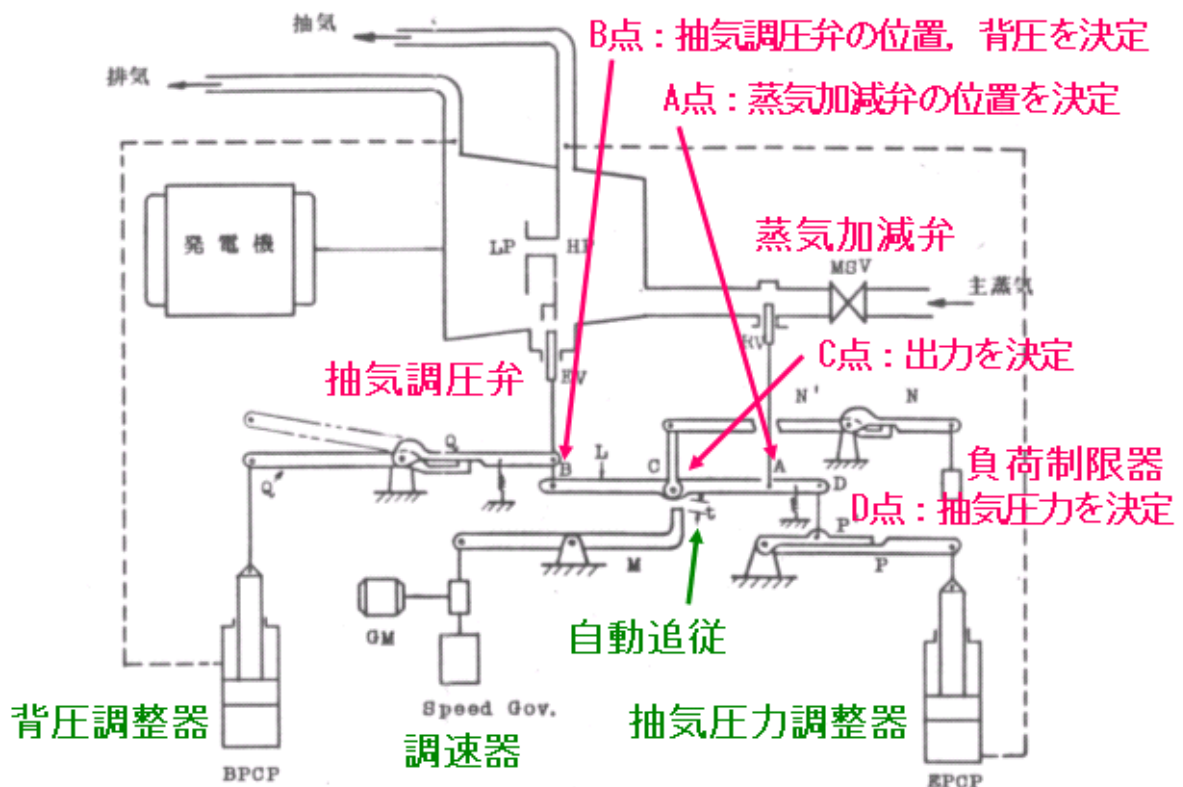


図 11 抽気背圧タービン機械式ガバナ概念図

[提供] 三菱重工業(株)長崎造船所

(1)調速運転：発電機が系統に並列されていない場合に、タービンの回転速度と抽気圧力を制御する運転であり出力と背圧は制御できない。調速器桿 M は出力を決定する C 点との間のギャップ $t = 0$ で密着している。負荷制限器はタービン出力の上限を制限するものであり、C 点が制限した位置より下がらないようにするものであるが、調速運転の場合は負荷制限器桿 N と N' は折れ曲がっており、C 点は調速器桿 M で支えられている。

C 点を固定すると A 点と B 点がレバー比で上下する。図 10 では簡略的に A 点は蒸気加減弁、B 点は抽気調圧弁に直結して示されているが、実際はそれぞれがパイロットリレーにつながっており、パイロットリレーの動きによって蒸気弁が動く。

C 点が固定されて A 点が下がると蒸気加減弁が開方向に動きタービン流入蒸気量が増える。一方、B 点は上がるので抽気調圧弁が閉方向に動きタービンの排気流量が減少する。レバー L のレバー比を適切に選ぶとタービン出力が変化しないようにできる。

抽気調圧桿 P, P' は真直ぐになっており、抽気圧力が高くなると D 点を押し上げて A 点を上方向、B 点を下方向に動かし、蒸気加減弁を閉方向、抽気調圧弁を開方向に動かして抽気圧力の上昇を抑える。排気調圧桿 Q, Q' は折れ曲がっており、制御に参与しない。抽気圧力の代わりに背圧を制御することもできる。この場合には抽気調圧桿 P, P' は折れ曲がっており、排気調圧桿 Q, Q' は真直ぐになる。回転速度が低下して、調速器桿 M が下がると C 点が低下し、流入蒸気量と排気流量を増大して回転速度の低下を抑えるが、余り下がりすぎる場合には負荷制限器桿 N と N' は真直ぐになって C 点のそれ以上の低下を制限する。

(2) 調圧運転：発電機が系統に並列されている場合に、抽気圧力と背圧を制御する運転で、出力は制御できない。タービン回転速度は系統の周波数により一定に保たれる。調速器桿 M は C 点と離れているが、自動追従装置により一定間隔 t を保って C 点に追従している。負荷遮断が発生して回転速度が上昇した場合には調速器桿 M が上がって、C 点を押し上げて蒸気加減弁、抽気調圧弁を閉方向に動かす。調圧運転の場合も負荷制限器桿 N と N' は折れ曲がっており、C 点は抽気調圧桿 P, P', 排気調圧桿 Q, Q' で支えられている。抽気圧力は(1)の調速運転で述べたのと同じように制御される。排気調圧桿 Q, Q' は真直ぐになっており、排気圧力が高くなると B 点を引き上げて抽気調圧弁を閉方向に動かし、タービン排気流量を下げて排気圧力の上昇を抑える。一方、A 点も引き上げられるので、蒸気加減弁も閉方向に動いてタービン流入蒸気量も減少し抽気圧力の変動も抑える。この結果、タービン出力は減少する。

(3) 定負荷運転：発電機が系統に並列されている場合に、タービン出力と抽気圧力を制御する運転であり、背圧は制御できない。(2)の調圧運転と同様に、タービン回転速度は系統の周波数により一定に保たれ、調速器桿 M は、自動追従装置により一定間隔 t を保って C 点に追従しており、負荷遮断が発生した場合の作動も同様である。負荷制限器桿 N と N' は真直ぐで、C 点の位置は負荷制限器桿によって支えられている。抽気調圧桿 P, P' は真直ぐで、D 点の位置は抽気調圧器によって決められる。抽気圧力の代わりに背圧を制御することもできる。

このようにレバー式の機械式ガバナで 2 つの制御量を制御することができる。

(つづく)

麻雀万歳

昭和 28 年卒 羽田幹夫

麻雀というゲームは頭脳を刺激する有用な遊びである。私の知っている範囲で、麻雀好きが、認知症になったということを聞いたことがない。

麻雀というゲームは、常に緊張して場の状態を眺め、相手の待ち手の進行状況を伺いながら、即座に打つ牌を決めなければならないし、頭脳の休まる暇がない。これを 1 時間以上保たなければならないために、頭脳は常に活動し続けるのである。これだけ頭脳が活発に働いていれば、認知症はまず起こるはずがないのだ。

私の提案したいことは 60 歳以上の年寄りには麻雀を練習することである。これはゲームであり、馴染めば面白いので、直ぐに虜になる。認知症は忘れることが出来るし、遊ぶことで脳の訓練にもなるため、是非お勧めしたいと思う。また点数を直ぐに計算するとも必用になるので、これも頭の体操になる。要するに麻雀を積極的に行うことで、頭は何十年も呆けることが無くなるのである。遊ぶことによって健康に最も必要な頭の体操が出来るとは何と素晴らしいことではないか。

老人の介護施設でも殆ど麻雀のできる場所があるので、そこで楽しくゲームが出来れば相手との会話によっても一石二鳥の効果があるのだ。トランプのようなゲームでも同様な事がいえる。

さあ皆で麻雀をやろう。暇と体力のある限り楽しく余生を過ごそうではないか。
麻雀万歳!

—— 京機短信への寄稿、宜しくお願い申し上げます ——

**また、原稿が切れてきました。京機短信存続が問題になるレベルです。
是非とも投稿、お願い致します。 気楽に !!**

【要領】

宛先は京機会の e-mail : jimukyoku@keikikai.jp です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。 宜しくお願い致します。

昭和30年卒同窓会

平成27年10月28日、大阪梅田、白楽天（中華料理）にて、8名が集まりました。歳には勝てず、体調不良が多く、出席率は3割程度となりました。これまでは京都と大阪で交互に毎年一回開催していましたが。大阪近辺の人が多いため、大阪で年一回開催することになりました。



写真（前列左より）近山、安井、清水、撰、
（後列左より）岡崎、田中、石田、品部

（安井記）

卒業 57 周年京岬会（昭和 33 年卒）同窓会

2015 年 10 月 19 日、名古屋ガーデンパレスで同窓会を開催しました。病気と闘いながら 18 名が集まり、近況報告や " 青春とは年齢ではなく心の持ち方を言う " ・ ・ などと論じたり、ハーモニカの伴奏で懐かしい童謡を合唱するなど、にぎやかで楽しく元気の出るひと時でした。

前日は 6 名で「第 2 回囲碁大会」を開催し、2 回の総当たりという消耗戦の末、造田君が優勝しました。

翌日は 13 名が彦根 CC で「第 65 回京岬会ゴルフコンペ」を行い、秋空のもと倉田君が優勝しました。
(岸本記)



昭和46年卒（昭和42年入学 教養部T-10組） 第3回 同窓会報告

日時：平成27年10月15日（木） 17:30～20:30

場所：京都 左京区吉田山 料理旅館 吉田山荘（元東伏見家別邸）

出席者；16名（後列左より）：増田（幹事）、荒井、松宮、高橋、清水（中段）、森、原田、武田、古賀、高萩



一昨年(2013年)7月20日(土)に鴨川の納涼床で第2回の同窓会を開催しました。その後も関東地区では小規模に同窓会をしていましたが、久しぶりに京都大学の地元で同窓会を開催しました。会場は三高寮歌「紅萌ゆる岡の花」で詠われている吉田山の東山麓にある吉田山荘です。夫妻での参加を奨励した結果、6組の夫婦の参加がありました。京都は観光シーズン真っただ中で、週末の開催は会場が確保できず、木曜日の開催となりました、そのために仕事の都合で出席できなかった方々には申し訳なく思っています。夕食を食べながら、学生時代の思い出話や近況報告で盛り上がりました。遠方から参加したメンバーは宝が池のグランドプリンスホテルで宿泊し、せっかくの機会をとらえて、翌日京都観光したのち、帰宅しました。次回の開催は再来年4月頃を予定しています。T10の皆さん是非御参加下さい。（文責）：清水 明

1 . 成長率 7 % 割れでも中国がしぶとい理由

2015.10.20 日経ビジネスOnline

伸び続く個人消費、「バブル崩壊」は起こるのか

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/15/110879/101900112/>

中国国家统计局は10月19日、2015年7～9月のGDP（国内総生産）を発表した。物価変動の影響を除いた実質のGDP成長率は前年同期比6.9%増と、リーマンショック後の2009年以来、6年半ぶりに6%台となった。政府が2015年の目標としている7%も下回った。

2 . 中国経済：三次産業の堅調さに支えられ予想外の小幅減速

（2015年7～9月期 GDP）

2015/10/20 伊藤忠経済研

http://www.itochu.co.jp/ja/business/economic_monitor/files/2015/20151020_2015-051_C.pdf

7～9月期の実質GDP成長率は前年同期比+6.9%となり4～6月期から小幅減速した。二次産業の減速が主因であり、三次産業は堅調な拡大を続け成長を支えた。こうした三次産業の動きは個人消費関連指標の改善と整合的であり、輸出にも改善の動きが見られたが、固定資産投資は減速が続いた。中国経済は過剰生産能力の調整と在庫調整という2つの調整を同時に進めているが、在庫調整は終了への道筋が見えてきており、年内にも景気の悪化に歯止めが掛かる見込み。

3 . 中国経済はふたつの二極化が同時進行～日本企業への影響も二極化

2015.10.23 ニッセイ基礎研

http://www.nli-research.co.jp/report/econo_letter/2015/we151023chi.html

http://www.nli-research.co.jp/report/econo_letter/2015/we151023chi.pdf

4 . 中国経済減速の背景と日本経済への影響

2015.10.16 大和総研

中国の「咳」で日本が「風邪」を引く？

http://www.dir.co.jp/research/report/japan/sothers/20151016_010226.html

中国経済減速の背景と日本経済への影響

http://www.dir.co.jp/research/report/japan/sothers/20151016_010226.pdf

中国経済の減速が止まらない。中国の「景気循環信号指数」を見ると2014年に入ってから低下傾向を強め、2015年6月には景気の「低迷」を示すゾーンに突入した。中国の景気減速の背景には、企業活動の弱さがある。先行きの中国経済を占ううえで重要なカギとなるのは、中国の景気下支え策が今後どの程度発動されるかという点である。

中国人観光客の“爆買い”と対中輸出が日本経済に与える影響度を比べると、後者が圧倒的に大きい。対中国輸出が半年間低迷（1割減少）した場合、日本の名目GDPは5,220億円減少する。他方、中国人観光客数が1年間で3割減少すると、名目GDPは663億円減少することになるが、対中輸出が低迷した場合に比べて影響はかなり小さい。

中国の株価や不動産価格と個人消費に有意な相関は見られるのだろうか？通常、中国では、住宅価格が上昇（下落）すれば小売売上高が増加（減少）する傾向がみてとれる。これと対照的に、株価と小売売上高に関しては、明確な相関関係が認められない。つまり、中国において個人消費を規定するのは株価よりも、むしろ住宅価格である可能性が高いとみられる。

中国は2014年後半以降、住宅需要の喚起策を立て続けに実行した。この結果、70都市新築住宅価格指数（前年比）の先行指標に続き、中国の住宅価格指数が上昇傾向へと転じている。

中国の財政出動によって、固定資本形成が増加すると「一般機械」、「鉄鋼・非鉄・金属」、「化学」の生産が増加する傾向が強い。また、日本の多くの業種では、中国の消費刺激策よりも公共投資拡大の影響の方が大きいと考えられる。加えて、以前に比べて日本の「最終財」輸出の中国依存度が高まっており、中国の民間消費の影響が強くなっている可能性がある点に留意したい。

5．中国経済減速が日本経済に及ぼす影響

三菱総研

http://www.mri.co.jp/opinion/column/ecorev/ecorev_20151015_1.html

<http://www.mri.co.jp/opinion/column/uploadfiles/mer20151022.pdf>

貿易を通じた中国経済と日本経済のつながりは依然として強いものの、生産の内生化などを背景に、近年は従来と比べ中国向け輸出は伸びにくい構造に
ただし、所得収支やサービス収支、中国現地法人の売上・収益などを通じた影響は拡大

アジアを中心に第三国を通じた中国経済との結びつきは深まっており、総じてみれば日本経済にとって中国経済減速のリスクは大きくなっている

6．中国の成長鈍化に対する企業の影響調査

2015.10.15

中国の成長鈍化、企業の25.4%が業績に「悪影響」

帝国データバンク

日本企業は中国との経済活動で7つのリスクに直面

<http://www.tdb.co.jp/report/watching/press/p151003.html>

中国経済との相互依存関係が深まっている状況において、日中関係の改善に向けた動きは経済取引をより円滑にすると見込まれている。一方で、中国の経済成長が徐々に低下するなか、8月の上海株式市場の急落や為替市場における人民元の基準値切り下げにみられたように、日本経済に与える影響も懸念されている。そ

ここで、帝国データバンクは、中国の成長鈍化が企業に与える影響について調査を実施した。なお、本調査は、TDB 景気動向調査 2015 年 9 月調査とともに行った。調査期間は 2015 年 9 月 14 日～9 月 30 日、調査対象は全国 2 万 3,257 社で、有効回答企業数は 1 万 752 社（回答率 46.2%）

調査結果

1. 中国の成長鈍化により、企業の 25.4% が自社の業績に悪影響を受けると見込む。特に、中国への進出が進む『製造』『卸売』のほか、物流を担う『運輸・倉庫』でも 3 割台となっている
2. 中国の成長鈍化で、企業全体の 2 割が売り上げの減少、1 割で利益の減少直面すると認識している。悪影響を受けると考える企業でみると、「売り上げが減少」が 75.8%、「利益が減少」が 42.9%。さらに、「中期的な経営計画の見直し」を考える企業も 12.8% に上る
3. 中国と経済活動を行うときのリスク、「品質管理が困難」が 51.0% でトップ。以下、「安全管理意識の低さ」「反日教育」「対日抗議行動」「不透明な政策運営」が続く。すでに、中国経済とのかかわりがある企業では、「賃金水準の上昇」を大きなリスクと捉えている
4. 中国との経済活動で日本企業は次の 7 つのリスクに直面する可能性。
 - 1) 対日感情・安全保障リスク、2) 恣意的な法律運用リスク、
 - 3) コスト上昇リスク、4) 契約・商習慣リスク、
 - 5) 株式・不動産バブルリスク、6) 品質・安全管理リスク、7) 雇用リスク

詳細は <http://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p151003.pdf>

7. 「チャイナリスク」関連の倒産動向調査

2015.10.8

チャイナリスク倒産、昨年の 1.5 倍で推移

帝国データバンク

～ アパレルなどの卸売業を直撃 ～

<http://www.tdb.co.jp/report/watching/press/p151001.html>

4 月 30 日、中国子会社において多額の売掛債権の回収難が発生したことで、東証 1 部上場の江守グループホールディングス（株）（5 月に上場廃止）が東京地裁へ民事再生法の適用を申請。その後も、（株）LIXIL グループ（東証 1 部）の中国子会社が不正会計処理の発覚で破産するなど、大手企業におけるチャイナリスクの表面化が続いているが、今後は、中国経済減速の影響が中小企業にも及ぶことが懸念されている。帝国データバンクは、中国関連事業を手がけていた企業の中で、以下 6 項目の中国固有のリスクが要因となって 2014 年以降に倒産した企業（法的整理のみ）について分析した。中国関連事業を手がける企業の倒産動向発表としては、2015 年 9 月 8 日に次いで 2 回目。

中国に子会社・工場や合併会社を置いていた企業または中国企業と直接取引をし

ていた企業

中国固有の6要因

1. 中国国内における人件費高騰、為替変動などコスト負担増による採算悪化
2. 中国の子会社（工場）、中国の取引先企業の業績悪化や同社からの売掛金回収難、取引条件変更、取引トラブル
3. 中国政府からの工場移転命令、現地従業員によるストライキ
4. 品質問題（食品偽装・衛生問題、製品の欠陥）
5. 反日感情の高まりに伴う日本製品の不買行動、日本企業との取引縮小
6. 景気減速に伴う中国国内への販売減少

調査結果

1. 2014年から2015年9月に中国固有のリスク（＝チャイナリスク）が要因となって倒産した企業は111社。2014年の年間件数（52件）を上回り、前年同期比では1.5倍のペースで推移
2. 要因別では、現地従業員の賃金上昇や為替変動に伴う「コスト増」（59件、構成比53.2%）が過半数を占め、「中国取引先の業績悪化」（19件、同17.1%）が続いた
3. 業種別では、「卸売業」が65件（構成比58.6%）が最多。このうち35件が繊維・衣服・繊維製品の卸売業となり、「製造業」（31件、構成比27.9%）が続いた。

詳細は <http://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p151001.pdf>

8. 日本の鉄鋼業は中国リスクに立ち向かえるか

2015.10.28

市況総崩れで粗鋼生産量の下方修正が相次ぐ

東洋経済Online

<http://toyokeizai.net/articles/-/89864>

「最大のリスク要因は中国の景気減速だ」。10月23日、日本鉄鋼連盟の定例会見で、柿木厚司会長（JFEスチール社長）はそう言い放った。

9. ついに「爆買い」がピークアウト!?

2015.10.21 現代ビジネス

～中国の景気減退と、二つの数字が示す、明るくない未来

<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/45941>

今ひとつ元気がない日本の消費を下支えしてきた、外国人観光客による「爆買い」はいつまで続くのだろうか。上海株式相場の大幅な下落の影響で、中国人観光客の財布のヒモが締まることはないのか。中国の国内総生産（GDP）が7%を割った影響は出ないのか。

10. 「日本化」する中国経済、全治までには5年か

2015.10.21 DIAMOND Online

<http://diamond.jp/articles/-/79880>

次の図表1は、日米欧と中国の民間債務のGDP比率の推移である。筆者はこの図表を1990年代後半から約20年近く用いてきた。その理由は、実際に日本企業の債務調整に従事してきた実務家の立場から、日本のバブル崩壊後のバランスシート調整の目安を考えることにあった。

1 1 . 中国の新五カ年計画まもなく公表 目標成長率は年6.5%前後か

2015.10.21 DIAMOND Online

<http://diamond.jp/articles/-/80316>

来る10月23日にイギリス訪問を終えて帰国する習近平国家主席は、さっそく26日に第18回中国共産党中央委員会第5次全体会議を開くこととなっている。同全体会議は29日まで開かれるが、国民経済社会発展第13次5カ年計画（十三五、2016～2020年）などの重要な問題について議論する予定である。

1 2 . GDP 成長率6.9%受け、中国が打つ次の一手

2015.10.22 日経ビジネスOnline 富士通総研 柯 隆

<http://business.nikkeibp.co.jp/atcl/report/15/110879/102100114/>

中国政府は今の経済状況を「新常态」と定義している。その意味は無理に高成長を目指す必要はなく、7%程度の成長で十分であるということのようだ。しかし、中国経済の実態は7%の「新常态」に程遠く、一段と減速する可能性が出てきた。

1 3 . 中国の経済統計は信用できるのか

JBPress

13-1 数十倍に膨らんだ捏造「生産高」報告を喜んでいた毛沢東 2015.10.27

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/45059>

2015年、中国政府は7%成長を政策目標として掲げている。第1四半期と第2四半期の成長率はいずれも7%だった。こんな偶然はめったにない。

13-2 こうして弾き出される！実体にそぐわない中国のGDP 2015.10.28

<http://jbpress.ismedia.jp/articles/-/45063>

中国当局は、GDPを算出する段階でどのように数字を操作するのだろうか。

1 4 . 中国の「GDP6.9%成長」は真っ赤なウソ！ 2015.10.26 現代ビジネス 国家統計局の発表ではっきりした「経済失速」の真実

<http://gendai.ismedia.jp/articles/-/46029>

われわれ日本人も決して他人事では済まされない、中国経済の昨今の減速ぶりを、4つの側面から分析しました。第一は、6月以来の「中国株暴落」が意味するものです。いまから4カ月前に突然始まった中国株の暴落によって、日本の人口よりも多い1億7000万人もいる「股民」（個人株主）たちが、大損しました。